

ケーブルテレビ事業を進めてまいりました。お陰を持ちまして、今年4月に「ほっちゃテレビ」として開局することができ、多くの皆さんに加入していただきました。8カ月を経過し、大分馴染んでいただいていると思いますが、番組づくりなどの面でいろいろと要望も出てきております。これからも地域に密着した情報システムとして、大きく育てていただく意味でも、ご意見やご要望をお聴かせ願いたいと思います。

今年金子みすゞ生誕一〇〇年を迎えました。4月には「金子みすゞ記念館」が完成し、全国各地から多くの人たちに訪れていただきました。お陰で全国の多くの人たちから目を向けていただき、観光面にも、追い風となって大きな力を与えてくれました。

こうした金子みすゞや通地区に伝わる捕鯨文化のように、地域にあるすばらしい資源は末永く継承していきたい、文化の面からも長門市を全国に情報発信し、これが観光に、そして地域の振興につながるということも考えていかなければならないと思っております。

今回のまちづくり懇談会の大きなテーマとして、「地域福祉計画」と「市町村合併」があります。

まず、「地域福祉計画」ですが、福祉政策を、それぞれの地域ごとに見つめ直し、地域に密着した福

祉事業として計画していくものです。市内でも、それぞれの地域に違った生活空間と生活時間があり、それぞれに個性のある歴史や文化、伝統、そして独自の生活習慣や経済活動があります。こうした地域性を福祉に結びつけていくのが「地域福祉計画」です。市町村合併によるデメリットとして、こうした地域性が失われるのではないかと懸念がありますが、地域の歴史や文化、伝統を残し、活かしていく意味からも、地域福祉計画は必要なので、市町村合併の作業と同時進行で取り組んでいかなければならないものと考えています。

「市町村合併」につきましては、今年1月に法定合併協議会を設置し、協議を重ねてきました。先日、新市の名称も「長門市」に決まり、「合併の方式」、「期日」、「事務所の位置」の合併協定基本4項目、全てが決定しました。引き続き、各種事務事業の調整を進めるとともに、新市の方向ならびに事業計画の指針となる「新市建設計画」を策定してまいります。

私たち1市3町のように財政状況が非常に厳しい地方の市町村では、合併によるスケールメリットという長所を活かしながら、経済的な自立をしていく、そして新しい地域づくりを進めていくことが大切だと考えております。

地域福祉計画の策定期間を平成15・16年度の2年間を予定しており、これから地域座談会を開催することになります。地域座談会は3回程度開催し、それぞれの地域にある生活上の課題を話し合ってください。また別に実施するアンケート調査の結果も考慮し、それぞれの課題解決のためには何をどのようにしたら良いのかを考えていただきます。

主な質問・提言等



地域福祉計画

Q 地域福祉計画の、具体的な内容、計画づくりの進め方を教えてください

A 地域福祉計画の策定期間を平成15・16年度の2年間を予定しており、これから地域座談会を開催することになります。

地域座談会は3回程度開催し、それぞれの地域にある生活上の課題を話し合ってください。また別に実施するアンケート調査の結果も考慮し、それぞれの課題解決のためには何をどのようにしたら良いのかを考えていただきます。

その結果、地域特有の課題や地域で解決できる課題を「地域プラン」。広い地域や市内全域の助け合い事業として社会福祉協議会が役割を担うものを「地域福祉活動計画」。行政の施策で実施していくものを「地域福祉計画」として整理します。こうした作業を出来るだけ市民の皆さんが中心となつてやっていただきたいと考えております。

この計画は、新市になり改めて

本格的に策定しますので、この2年間は、そのための準備期間でもあり、計画策定の手法について行政も市民の皆さんと一緒に勉強していく期間だと考えています。

この地域福祉計画は「市民参加のまちづくり」を実現していくシステムづくりということでご理解をいただき、今後のご協力をお願いします。

金子みすゞ記念館 ①

Q 金子みすゞ記念館には多くの来館者があるので、休館日を廃止してはどうですか

A 金子みすゞ記念館につきましては、当初の予想を大幅に上回る多くの皆さんが入館いただき、嬉しく、感謝しております。

現在、毎週火曜日が休館日というところで、来館者に多少のご不便をおかけしていることは認識しており、いろいろとご指摘も受けております。しかしながら、基本的には施設を健全に維持管理していく上で、一定の休館日は必要と考えています。

今後とも皆さま方からのご意見を参考にし、記念館を訪れてくださる方に十分にご理解いただけるよう、検討してまいります。

金子みすゞ記念館 ②

Q 帰省客の多い正月に金子みすゞ記念館を開館してはどうでしょうか

A 観光関係者や市民の皆さん方から正月期間中の開館への強い要望をお聞きしておりますので、検討したいと思っております。

(皆さん方からのご要望により、検討した結果、1月2、3日の両日は開館することになりました)

金子みすゞ記念館 ③

Q 金子みすゞ記念館開館により、山口ながと漁協本所前に大型バスが駐車して非常に危険な状態です

A 金子みすゞ記念館開館以来、旅行会社やバス会社へ協力をお願いし、標示看板等も設置して協力を求めています。しかし、依然として漁協前に大型バスを停車して観光客を降りられることが多く、交通安全上とても危険な状態です。

このため、再度仙崎駅や青海島観光基地の利用を関係機関に強く要請していきたいと思っております。また、長門警察署にも、パトロールによる指導をお願いしているところがあります。